

2006年(平成18年)11月17日

各 位

会社名 株式会社 ティン
 代表者名 代表取締役社長 市野 諒
 (JASDAQ・コード番号 7217)
 問合せ先 取締役(管理課担当) 那須 賢司
 (TEL. 045-810-5511)

平成19年3月期業績予想および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年5月22日に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想および期末配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,744	838	481
今回修正予想(B)	5,598	671	395
増減額(B-A)	145	166	85
増減率(%)	2.5	19.9	17.8
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	4,907	743	450

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 59円55銭

2. 平成19年3月期個別通期業績予想数値の修正(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株あたり 期末配当金
前回発表予想(A)	5,135	695	403	21円04銭
今回修正予想(B)	5,153	609	362	19円11銭
増減額(B-A)	17	86	40	1円93銭
増減率(%)	0.3	12.4	10.1	-
(ご参考) 前期実績(平成18年3月期)	4,343	593	358	19円03銭

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 54円50銭

3．修正の理由

通期の売上高につきましては、当初の予想に対して販売単価の低い製品の売上構成比が増えたことや米国における新製品の発売時期の遅れなどがあり、期初の計画に対しては若干下回る見通しとなりました。

また、損益面につきましては、加工部品の内製化、および前期と比較しての売上高増加に伴う操業度の改善が見込めるものの、前述の販売単価の低下とあわせ、当期において特に重要施策として推進しております製品競争力強化のための研究開発費の増加等により、経常利益、当期純利益ともに前回公表時の予想を下回る見通しとなりました。

以上により、通期の業績予想数値につきましては、上記および今後の計画等を踏まえ、上表のとおり修正いたします。

なお、1株当たり期末配当金については連結ベースの業績に連動しておりますので、上記の業績予想の修正に伴って修正いたします。

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上